

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	ミュージカル
----	----	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃそうごうげきしゅうだんはいゆうかん 有限会社総合劇集団俳優館		
代表者職・氏名	代表取締役 森釗		
制作団体所在地	〒 460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-22-17		
電話番号	052-203-8721	FAX番号	052-203-8729
ふりがな 公演団体名	そうごうげきしゅうだんはいゆうかん 総合劇集団俳優館		
代表者職・氏名	劇団代表 森釗		
公演団体所在地	〒 460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-22-17		
制作団体 設立年月	1986年2月		
制作団体組織	役職員 代表取締役 森釗 取締役 祖川詩織 取締役 平田美帆 芸術顧問 ふじたあさや	団体構成員及び加入条件等 団体構成員 13人(正会員)、客員5人 加入条件等 劇団総会の審議を経て役員会が 入団を適当と認めた者	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	森釗
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	祖川詩織

制作団体沿革	1986年2月総合劇集団俳優館として発足。1990年3月法人化、有限会社総合劇集団俳優館。 1990年6月、公益社団法人日本劇団協議会に加盟。1997年5月、日本児童青少年演劇劇団協議会（現協同組合）に加盟。 2001年3月、東京都優秀児童演劇賞奨励賞受賞（ミュージカル「ムクバクとチチャねこ」）作品賞。 2003年度、愛知県芸術文化選奨文化賞受賞（森釗、児童劇ミュージカルの脚本と制作）。 2011年度、松原英治・若尾正也記念演劇賞受賞（森釗、新劇100年企画連続公演） （主な作品）さんしょう太夫／カレーライス物語／ガラスのうさぎ／ごきげんなすてご／ムクバクとチチャねこ／＊雨ニモマケズ／＊ねこはしる／どん底／アンデルセンものがたり／新劇100年企画Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ／はだしのゲン／三人姉妹／世界どうぶつ会議／ブルーストッキングの女たち／ヘルン氏のこわいかこわくないかわからない話／アラビアン・ナイト／賢治のドリームランドにつぼん／群青～雲流れる果てに～／こぶりじいさん、手袋を買いに／出雲の阿国／夏の夜の夢／あらしのよるに／森は生きている／コーカサスの白墨の輪／ブンナよ、木からおりてこい ＊印 文化庁「本物の舞台芸術体験事業」 「雨ニモマケズ」平成15.16年度、「ねこはしる」平成18,19,20,21,22年度			
学校等における公演実績	2017年5月 ミュージカル「あらしのよるに」初演 文化振興基金助成 2017年～2019年度 ミュージカル「あらしのよるに」延べ191公演 2018年5月～7月福井県福井市、鯖江市内小学校巡回公演 文化振興基金助成 上記年度には次の演目も学校等で公演している。 ミュージカル「ヘンゼルとグレーテル」22公演、「こぶとりじいさん」・「手袋を買いに」8公演 宮沢賢治の「ドリームランドにつぼん」9公演、小泉八雲「ヘルン氏のこわいかこわくないかわからない話」5公演、「おおきなかぶ」6公演 2020年度 新型コロナ感染により公演中止延期35公演減少 ミュージカル「あらしのよるに」5公演、その他の作品4公演実施。 2021年度 ミュージカル「あらしのよるに」16公演、文化庁子どものための文化芸術鑑賞プログラム選択型、学校による提案型22公演、計38公演。 2021年新作ミュージカルシアター「ぐりむ ♪りむりぐ♪りむりぐ♪りむ」14公演。その他作品5公演。			
特別支援学校における公演実績	2008年、2009年に「ねこはしる」を本物の舞台芸術体験事業巡回公演で、岩手県一関市と北海道にて実施しました。 2021年度ミュージカル「あらしのよるに」プログラム選択型で京都府2校実施します。			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	DVDを提出します。	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:		
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

総合劇集団俳優館

】

対象	○	小学生(低学年)	○	中学生
	○	小学生(中学年)		
	○	小学生(高学年)		
企画名	ミュージカル「あらしのよるに」			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	演目：ミュージカル「あらしのよるに」 原作：きむらゆういち「あらしのよるに」講談社刊全7巻より 脚本：三樹健 作曲：ノノヤママナコ 演出・振付：ほりみか 公演時間(70分休憩なし)			
著作権	○	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる 取得済 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	きむらゆういち作「あらしのよるに」を原作にミュージカルに舞台化。 ヤギとオオカミが共に生きるという弱肉強食の動物の世界では、あり得ないような友情、勇気、思いやりが物語られている。あらしの夜、真っ暗な小屋の中で出会ったオオカミのガブとヤギのメイ。顔も見えず相手が誰なのかわからない。ところが妙に気が合ってピクニックに行こうなどと約束する。それを知った森じゅうの動物たちは大騒ぎ。会ったとたんにヤギはオオカミにパクッと食べられてしまうぞ！しかしオオカミはヤギを食べなかった。それどころか、違っていても一緒にいると何となくホッとする大切な友だちだと思いはじめる。が、群れからは許されず追われた2匹は、互いの友情のため、生きるために吹雪の山を越え新しい天地を目ざす。			
演目選択理由	「あらしのよるに」には異なる者同士が違いを乗り越え共に生きるという共生のテーマを内包している。日本人の心底には外国崇拜の反面、同一民族性というか異人種に対する偏見、排外思想が潜んでいる。それが子どもの世界では、違っていることを理由に仲間はずれ、いじめの形になって表れていると思われる。この劇を通じて、子どもたちが、いじめの底にある異なる者を敵視したり排除しようとするゆがみの正体を知り、勇気を持って友情を育み、融和と共生の心、多様性の認識が大切であることを考えて欲しいと。そこで、この演目を選択した。			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	①児童が会場に入る際、俳優たちが衣裳を着けて待機し挨拶の声をかけあいながら、客席に誘導します。出演者との交流一体感を準備します。 終演後は、希望者に対しバックステージツアーを行い、舞台の裏側を見せ質問に答えます。 ②共演の形態としては、ワークショップで習ってもらった曲「ちがっていても、ともだちなんだ。」を劇中で合唱します。 また①共演者の一部は序幕、あらしの前、森の動物(リス、サル、ウサギなど)たちが集う「ぼくらの森」に役とダンスで参加。②終幕近く、雪崩で記憶をなくしヤギのメイを思い出せなくなったオオカミのガブに対し、森の動物たちが「ガブ、出会ったあの“あらしのよるに”を思いだそう♪」の場面にも登場し、そのまま終幕の曲「違っていても友達なんだ♪」を俳優たちと共に歌い踊ります。 出演児童は当該校と相談して選考します。森の動物たちの衣裳は基本的に劇団で用意しますが児童の創意を尊重します。			
出演者	出演者と主な役名(コスはオオカミorヤギを演ずる。) 稲吉直人 在籍32年……ガブ(オオカミ) 谷口真規 在籍14年……メイ(ヤギ) 馬場翔 経験6年……ギロ(オオカミ)、コロス 今村しんすけ 在籍4年……タブ(ヤギ)、コロス 今枝蛍 経験7年……ヤギの長老、コロス 夏目みほ 在籍4年……リス、コロス 鈴木かえり 在籍6年……バリー(オオカミ)、コロス 柴田梨沙 在籍4年……サル、コロス			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者： 8 名 スタッブ： 5 名 合 計： 13 名		機材等 運搬方法	積載量： 3 t 車 長： 7 m 台 数： 1 台

【公演団体名 総合劇集団俳優館 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		4 時間程度	
	コース、会場条件により前日仕込みもあり得ます。					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～12時	13時50～15時	0分	5時30分～17時	時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		60名(1学年程度)、当該校の希望に対応します。			
	本公演		400名			
ワークショップ 実施形態及び内容	1. 講演：ミュージカルとは何か。ミュージカル「あらしのよるに」がどのように生まれたか。 2. ミュージカル体験講座：「あらしのよるに」に即して、歌とダンスとお芝居の融合がミュージカルの基本要素であることを実技指導します。歌とセリフとダンスの入った一場面を実技体験。 3. 共演指導：本公演で児童生徒が参加する場面を、共演者とともに練習します。 講演は脚色者の三樹健、演出・振付のほりみかが、共演する場面の練習は、演出・振付のほりみか及び俳優が担当します。					
ワークショップ 実施形態の意図	1. 講演は、ミュージカル「あらしのよるに」について作品の内容とミュージカルの魅力を周知し公演に関心と興味を持ってもらうことを意図しています。 2. ミュージカル体験講座は、出演者になったつもりで創造するよろこびを共有する意図があります。 3. 共演指導は、劇中の劇団の出演者と同じ演劇的体験を共有する意図のもと本番同様に行います。					
特別支援学校での 実施における工夫点	現在学校公演においては、特別支援クラスの児童とともに観劇していますので担当の教師の庇護、介護さえあれば問題なく観劇可能と考えています。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

劇のテーマの「友情」というものがうまく表現されていてとても勉強になりました。「ほくもどんどん友だちつくろう」と思いました。(小学3年生・男子)

ガブが、メイを助けるために仲間のオオカミと命がけで戦ったところ。メイも「わたしを食べて、私の分も生きて。」といったところ感動しました。そんな友達でできたいいなと思う劇でした。(小学3年生男子)

命をかけてもいい友だちなんて今までずっといいと思っていなかったけど、この劇を観て命をかけてもいい友だちがいることを親友というんじゃないかなと思いました。(小学3年生・男子)

本で「あらしのよるに」を読んだことがあるので内容は知っていましたが、劇で観ると迫力がすごかったです。メイとガブの友情シーンがすごく感動しました。もう一度観たいです。(小学5年生・女子)

ダンスがすばらしかったです。すごく感動しました。私はこの物語を読んだことがありますが、でも、人が動物をやると、やっぱりまたちがう世界が見えてとてもおもしろかったです。(小学6年生・女子)

上演校の先生から

多くの児童がこのお話を知っていたようですが、話の筋をしっかりと、絵本や映画とは違う、生の強りがふんだんに散りばめられたミュージカルの迫力にすっかり引き込まれてしまったようです。ヤギとオオカミ なのに互いを思い合い、友情を育てていくメイとガブ。自分の仲間から互いを守ろうと必死になる2匹。「ほくを食べていいよ」のメイの言葉…。児童の心は大きく揺さぶられ、涙を流している子もいました。

東京公演アンケートより

子どもたちも真剣に見入っていて、怖いシーン、別れのシーンでは、ソワソワするシーンが印象的でした。(50代・女性)

息子の希望と一緒に観ました。私も昔読みましたが、忘れていたので展開をドキドキしながら今日観ました。よかったです。(40代・女性)

大好きな作品なので、9歳の息子と観に来ました。劇ならではの感情がいろいろと伝わってきて、とても感動しました！(40代・女性)

物語は知っているのに、何回観ても泣けます。全国の子ども劇場でたくさんの子どもたちに観てほしい作品です。(50代・女性)

劇評

友情と共生 歌唱に涼しく響く …日本経済新聞 2017年8月30日夕刊

「あらしのよるに」は真っ暗がりの山小屋で偶然、嵐の一夜を過ごしたオオカミ(ガブ)とヤギ(メイ)の友情物語。ヤギはオオカミの餌食になる存在だが、翌日ピクニックの約束をするまでに仲良しになる。でもそこはオオカミの群れが山を狩る危険一杯の場。果たしてメイはそれに曝されるが、ガブは群れの掟よりも友情を優先し、メイを救う。利害よりも共生の大切さが歌唱に涼しく響いた。ずさんだ世相、不順な気候の夏にもこうした泉を湧かせる俳優館の役割は貴重。(演劇評論家 馬場駿吉)

心に希望の灯ともす友情と共生 …2020年10月8日アートピアホール観劇

簡明でユーモアのある会話、温かく包み込むような音楽、軽やかなダンス、汗を光らせての熱演が調和した俳優館の「あらしのよるに」は、心地よく弾むミュージカルだった。嵐の夜、山小屋に避難したオオカミとヤギは、暗闇と心細さで互いの姿に気づかぬまま仲良くなるが……。民族や人種、見た目や価値観の違いで起こる戦争やテロ、差別やいじめへの風刺や教訓を潜ませながら、人間社会の病巣に警鐘を鳴らす奇抜な物語に深化させた秀作だ。舞台に立てる喜びを全身ににじませる俳優8人は生き生きとした演技と歌唱で役の個性を印象深く表出し、絵本のような美術や衣装も擬人化の妙味を増した。(演劇ジャーナリスト 桐山健一)

名古屋公演アンケートより

それぞれのキャラがたっていて、ピツタリで、とても愛らしかったです。直後に言葉では言い表しきれないくらい、心が動きました。(10代・女性)

おしゃべりできる友だちは大切ですね。不意にも涙を抑えるのに必死でした。(50代・男性)

言葉の通じない異民族を殺し略奪してきたのが人類の歴史ですが、コミュニケーションができていたら。と見ながらこんな事を考えました。(男性)

こどもが真剣にずっと目を離さず見てみました。みなさんの歌声がきれいで、こちらの心に直接ひびくような気持ちになりました。(40代・男性)

ガブがとってもやさしくて涙が出た。(7歳)

人が人を思いやる気持ち、ちがった者同士が共に生きること、 生きる力と勇気、いのちの輝き、 友情の大切さを、子どもたちに届けます。

あらしのよるに 小屋の中で出会った
オオカミのガブとヤギのメイ。
真っ暗で顔も見えなくておたがいが誰なのかわからない。
オオカミはヤギが大好き。
顔が見えたらパクリと食べられちゃうぞ！
さあ、どうなる！？



「ちがったものたちがいっしょに生きる」

オオカミとヤギという違う生き方をしている動物が、偶然にも友だちになってしまった。これはあり得ない話である。そこからとんでもない事件が次々とはじまる。物語としてそこが実に面白い感動を呼ぶ。でも、それを読みかえたと違った生き方をしている異なったもの同士の共生のあり方が見えてくる。日々の生活のなかで、違いに目を向け争うよりも同じ生きものとして共に生きて友情をはぐくむことの大切さが子どもたちの心に浮かび上がってきてほしい。お互いを認め合うこと、ときには勇気も必要じゃないか。そんなことを思っ

て劇化しました。

三樹健（脚本）

「今度、いつ会える？」

オオカミが勇気を出してヤギにむかって言った一言。ここからオオカミとヤギの友情がはじまります。随分前にこの絵本を初めて読んだ時、あべ弘土さんの力強い絵に惹かれたのはもちろん、シュールで、ある意味ブラックなストーリーに大人である私もすっかりハマってしまいました。
オオカミとヤギ、種族が違っても仲良くする、それは現代社会にも警鐘を鳴らしている問題です。宗教間戦争、テロ、民族戦争、ガブとメイを見習ったら、平和な世の中が訪れるかも。
この作品をみてちょっとでもそんな事を考えてくれたら嬉しいのです。

ほりみか（演出・振付）



馬場祥 夏目みほ 鈴木かえり



今枝瑠 柴田梨沙 今村しんすけ



稲吉直人

谷口真規

脚本＝三樹健 脚本監修＝ふじたあさや 演出・振付＝ほりみか
作曲・音響＝ノヤママナコ 歌唱指導＝水野麻美 美術・衣裳＝中矢恵子
照明＝加藤敦雄 大道具＝岡田保（演劇組織 KIMYO） 舞台監督＝太田孝広 宣伝美術＝今枝瑠
企画制作＝森剣

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F81	分野	演劇	種目	ミュージカル	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	総合劇集団俳優館				制作団体名	有限会社 総合劇集団俳優館			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談
控室について	必要数 *	2室	条件		体育館ステージを控室(楽屋)とすることも可能			可
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			小型バス	1台	2tトラック	1台	可
	上記車両について「応相談可」の場合, 内容詳細			学校の需要に応じて対応します				
	来校する車両の内, 横づけが必要な車両の大きさ			全長6.95m 全幅2.19m 全高3.18m				可
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				可
	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				可
	理由			・ひな壇等舞台大道具の搬入をするため ・雨天の場合、濡れないようにするため (いずれも対応について相談可能です) ・体育館横づけ不可の場合、昇降口から搬入することも可能です。				
	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				可
	搬入間口について 単位:メートル	幅	2m		高さ	2m		可
	WSIについて	参加可能人数	30～60人					
学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *				可	
所要時間の目安 単位:分		60分						可
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				
	鑑賞可能人数			400名				可
	舞台設置場所 *			フロア				不可
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	12m	奥行	14m	高さ	3m	不可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要			可
		舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態			可
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		可
	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	暗転はないが照明効果のため			可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			不可
		ピアノの事前調律 *		不要			—	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			可	
	公演に必要な電源容量		80A	※主幹電源の必要容量			可	
	その他特記事項							応相談

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

